



ふなはし

議会だより

No.19/9月議会号
平成29年10月25日発行



議会中継を熱心に見る子どもたち

舟橋村議会9月定例会より、インターネット中継が開始されました。当日の生中継のほか、録画による配信(10日前後かかります)も行っています。

議場に来られない方もパソコンやスマートフォンから見るができますのでぜひ一度閲覧してみてください。

※舟橋村ホームページ インターネット議会配信アイコンから見るができます。



議場に設置された配信用機器

- 舟橋村議会インターネット中継を開始!..... 1
- 村政を問う～9月議会報告～.....2～7
- 住みよい村づくりのために
～常任委員会質疑応答～.....8～9
- 現場視察・地方創生特別委員会勉強会・あとがき..... 10

7人の侍 舟橋村政を問う

現況と
意見

問 基幹産業としての農業の進む道

は？

答 農地の集積、6次産業化を推進する

明和善一郎
議員



問 昭和40年代より始まった水田転作及び生産目標数量の配分については、平成30年産米より、国は、この制度を撤廃し、県・生産者団体などの自主目標の設定に切り替え同時に、これまで交付していた直接支払金

(7500円)の廃止等水稲中心に経営を行っている富山県・舟橋村の農家にとって大きく舵を切って進んで行かなくてはなりません。

各市町村の指導が大切になってまいります。これからの進む道について、その考えを問う。

次に、29年度当初予算に計上・計画されていた、若手農業者のビジョンづくりサポート事業についてお聞きます。

事業の進捗状況はどの様になっていますか。

現在、村内で活躍されている若手農業後継者の状況



今年の稲刈りも無事終了

を見てみますと一定程度の経営面積を確保し事業展開を進められています。多くの後継者は未婚者であり、将来のビジョンの一翼に影を落としていると思われる。

富山県・各市町村の社会福祉協議会等で取り組みが進められている結婚への支援のアンケート調査によると、将来結婚したいが90・2%、結婚していい理由として適当な相手に巡り会わないが52%、結婚支援の取り

組み希望が77・2%となっており、県の委託事業では、成婚報告数30組となっておりとお聞きしました。村内の若手農業者の意識改革を進め、経営の安定を目指すための方策として、重要と考えます。が村当局の考えを問う。

答 村長 村では、経営規模の拡大のための農地の集積。6次産業化の推進。並びに米の販

問 応急手当の普及・啓発活動は？

答 講習会への参加、啓発・普及活動を推進する

問 緊急時の応急手当として、富山県東部消防組合で実施されている、住民に対する普及講習の受講状況はどの様になっていますか、9月号の村報に募集案内が掲載されていましたが、これまでの実績はどうですか。

・村内に設置されている自動体外式除細

路拡大に取り組んで参りたいと考えている。

また、経営の多角化として、6次産業化等に取り組み農業者に対して、村単での補助を行うこととしている。

若手農業者の婚活推進活動は、現段階で実施する予定はありませんが、若手農業者との懇談の中でニーズの把握をして参りたいと考えています。

動器(AED)の設置マップはありますか。

・AEDの使用講習会の実施はどの様になっていますか。

・受講修了者への修了書の交付実績はどの様になっていますか。

・AEDの設置場所等に不都合な点はあ

りませんか。

緊急時の応急手当の理解を高めるとともに、より安心・安全な村づくりを目指すための方策は如何？

答 総務課長 舟橋分遣所が実施しております講習会（普通救命講習）の受講状況については、平成26年10月1日に舟橋分遣所が業務を開始してから2回、19名（応急手当講習）はこれまでに16回、398名の方が受講されており、国重地区自主防災組織や消防団、中学校の生徒や教職員、村職員や社会福祉協議会、土地改良区職員らが、心肺蘇生法やAED取り扱いについて受講しております。また小学校育成会は毎年7月に、プール監視時における応急手当等を受講されております。

AEDの設置マップ等は作成しておりますが、役場、デイサー

ビスセンター、学童保

育施設、小学校、中学校、会館、村立図書館に設置し、職員の目が届きやすく来場者にも目に入りやすい位置に

問

空き家対策は継続的・長期的な視点で

空き家の状況を確認し、空き家解消に向けて所有者と協議する

答

れているところである。

杉田雅史 議員



そこで、当村における空き家の実態及び所有者の意向等について村としてどのように把握しているのか伺いたい。

問

当村においても他の自治体同様空き家が増加してきており、それにより地域の防災上、衛生上、また景観を損ねる問題が懸念さ

配置しています。周知

については、今後分遣所をはじめ各関係機関と連携し、広報やホームページ等を活用し周知して参りたい。

問題

問題を解消しました。

空き家の実態については、年1回村内全域を現地調査し、台帳で管理しております。管理状況の悪い物件については、管理者へ連絡し、改善を依頼しており、空き家を手放す意向のある方は、空き家バンクに登録しておりますが、現在の登録者数はゼロ件でございます。

富山YMCAによる空き家を活用した事業については、来年4月から既存の保育園で事業展開をするため、空き家を活用した事業展開の予定はありません。



問

公園の運営は住民不在といわれな

答

い対応を
住民主体の公園運営に転換できるよう努力していく

①平成28年度までに整備された京坪川河

川公園及び竹内ふれあい公園について、当局は今後住民と一体で管理・運営を進めていくとのことであったが、住民とは誰のことなのか？公園行事についてはその結果だけが新聞報道なされているが、地元住民に対して何ら周知がなされていない。

③更に、昨年竹鼻公園のトイレや水場の設置について当局の考えを伺ったが、現在までの検討状況や設置に向けた取組等について伺いたい。

公園の運営については村当局も積極的に関与することにより、住民不在の公園運営と言われないような運営が求められているので、今後の対応について伺いたい。

答 教育長

竹鼻公園へのトイレや水場の設置は美観をそこなわないための設置場所・安全性の確保のための管理方法など、いくつかの解決すべき問題はありますが、新年度には、予算計上し設置する方向で検討を重ねていきます。

公園の整備、維持管理及び運営についてですが、こども公園部長につきましては、公園運営を一緒に担ってくれる人づくり、その第一段階としての公園のリピーター・ファンづくりの一環として行っております。

この取り組みが住民不在の公園運営から住民主体の公園運営に転換できるよう村といたしましても努力して参りますので、もう少しお時間をいただきたい。



こども公園部長

問

答

交通ルール・マナーの向上を図る方策は？
通学時のヘルメット着用について購入費補助等を検討する

吉川 孝弘 議員



現在、児童等が安全に自転車の習熟を行う場所は、当村内に無いことが現状であります。

交通ルールを学べる施設、例えば交通公園など出来ないかと考える。

シニアカーは、免許が要らないにもかかわらず、安全講習など行い交通安全周知を行い少しでも事故を未然に防ぐ事が必要です。

問 本村では前年度の人身事故発生は5件なのに、今年8月22日現在で、早くも11件となっております。

舟橋村も、通勤の抜け道化などにより、交通量が増加してきており、通学路など認識しないで細い道をスピードを出し通行する車も多くなり、交通事故の危険性が高まって来て

舟橋小学校全校生徒のうちヘルメットを有している子供は全体の53・7%と半数以上が所有しており、ヘルメットを着用する事の安全性を認識されており、着用の推進を望む。

答 総務課長 子どもたちの交通ルール・マナーの徹底について

は、学校で安全指導を実施しておりますが、基本的には家庭でルールや乗り方について指導し、自転車に乗ることが基本です。学校や地域、PTAと一緒に通学事故から守るため、関係機関のご協力のもと安全教育を実施して参りたい。交通公園の整備は、施設整備に係る費用や、維持管理費の面から、村が単独で整備・運営することは困難であることから、県の交通安全自転車コースや県内の既存施設等を有効活用を検討します。また、ヘルメットの着用については、安全面の向上を考え、購入に際しての補助制度の導入等を検討して参りたい。



問

答

国民健康保険税
制度の持続について国・県に要望する

田村 馨 議員



制度改革に求められるのは、低所得者が多く加入する医療保険でありながら保険税が高すぎる制度の解決である。そこで以下について問う。

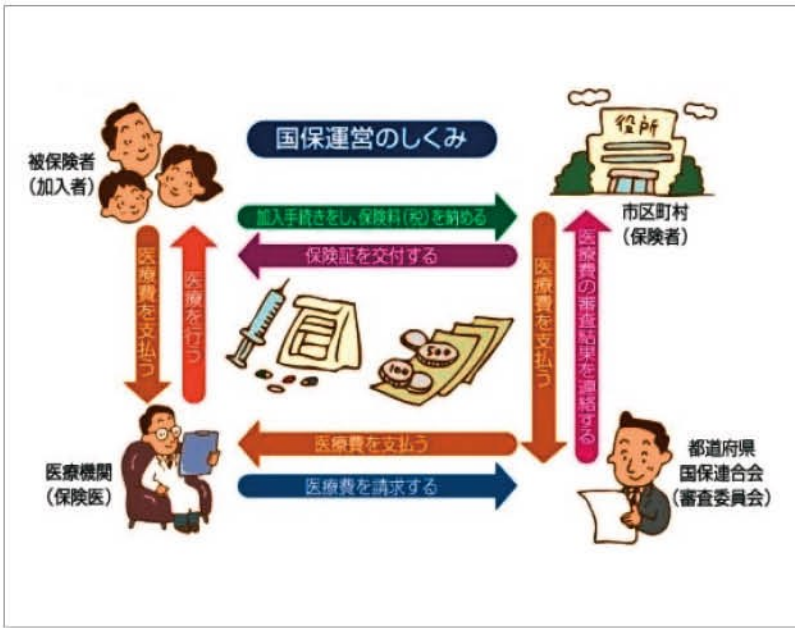
- ・今年度の国保事業運営見通しは？
- ・高い国保税の負担軽減策は？
- ・低所得者の国保税について、減免措置は考えられないか？

問 来年度から国保の運営が県に移り、市町村との共同運営体制となる。負担感の強い国保税が更に高騰するのではないか？
県に運営が移っても、市町村が住民から徴収する保険税や他の医療保険からの拠出金・国・都道府県からの公費による運営、国庫負担や都道府県の負担割合も変わらない。

答 生活環境課長 村としては、現在特別会計としての運営可能な範囲内ではありますが、激変緩和措置なども十

分検討してまいりたい
 と思っております。国民健康保険税の負担軽減については、低所得者等の負担を軽減するための制度の適切な運用を図るとともに、特定健診の促進等、医療費削減のための施策によって、国保の安定した運営ができるよう努め、生活困窮者への対応につきましては、納

税相談等のヒアリング結果に基づきまして、分納計画を立てるとともに、差押等の処分可否に反映させている。
 村としては、必要に応じて、町村会で協議の上、国・県に対して要望をすることなど、国保皆保険制度の持続に努めて参りたい。



問 答

舟橋村立図書館事業は？
20周年にふさわしい記念事業を検討する

前 原 英 石 議員



問 平成10年4月にオープンして20年。

平成20年7月3日に天然記念物の「ニホンカモシカ」が侵入してくると言う珍事件が発生してから10年。

今では舟橋村と言えば「図書館」ニホンカモシカ言えば「カモシカ図書館」と言われるよう、舟橋村の顔と言っても過言ではない舟橋村立図書館です

が、それぞれが節目の年になります。これまで来館された多くの利用者への感謝の気持ち、また、舟橋図書館の魅力をさらに多くの人に発信し新規図書館会員の増大にも繋がるよう村として、この節目の年に記念誌の作成や記念公演など何らかの記念事業を考えられたいかがかと思いますが、当局の考えをお聞きたい。

答 村長 舟橋村立図書館が来年開館20周年を迎えるにあたり、図書館・教育委員会等で20周年にふさわしい図書館らしい記念事業を模索しているところであります。図書館の歴史を記す記念誌も10周年記念誌「小さな村の図書館」と同様な形で発刊したいと考えております。他にも絵本作家

を招いての講演会や絵本ライブも考えられるかと思いますが、10年前の絵本出版という経験を生かし、「カモシ

カとしよかん」その後として絵本第2巻を発行できないかと考えて参りたい。

問 風水害など災害時における情報収集・伝達体制等は？

答 地域防災計画に基づき迅速な情報収集・伝達体制を構築する

問 現在、本村では風水害などに対する情報収集はどのように行っておられるのか？

気象業務法に基づいて富山気象台が発表する予警報に対してそれぞれの伝達体制と伝達系統は？

今後、一連の流れの中で、想定資器材などを使ったシュミレーション訓練(行動手順、排水訓練)などを行い課題や問題点を洗い出す事が迅速かつ安全な応急業務に直結してくると思うがどのように考えられるか。

第1配備・第2配備等の配備基準・配備体制等は確立されているのか？

今回、災害に備えて応急業務協定を結ばれた訳ですが、資器材の



答総務課長

災害時に

おける情報収集については関係各機関からの情報提供のほか、職員による巡視はもちろん、一般住民からの通報等からも情報を収集しております。非常配備につきましては、舟橋村地域防災計画に基づき、舟橋村災害時職員動員計画として基準を設けております。災害時応援協定についてであります。公共土木施設等の機能の維持回復、又は資機材調達について協力要請を行うことができるものとして、村単独での防災訓練の実施についても関係機関と協議し、実施に向けて検討していく必要があると考えております。

問

スポーツ振興に係る次世代を担う子供たちの活動支援の整備の考えは？

答

教育委員会、各種団体と連携しスポーツ環境の整備・推進を図る

秋 弘 議員

森



問 ふなはし文化スポーツクラブとして、バンドリが活躍している。

生涯スポーツ活動資金として年間百数十万円を支援していると聞くが、支援を受けない少年たちのクラブ活躍に対し、補助金を支給しては如何か？
近隣の町のスポー

ツ少年団への対応は、

スポーツ少年団に補助金を交付。補助金額は、団員数に単価を乗じた金額。また、活動日数に1日の単価を乗じた金額を実績に応じた補助などさまざまである。

「舟橋村に住んでみたい。」「これからも、ずっと住み続けたい。」村とするために。

また、次世代を担う子供たちに夢と希望を与えるために、舟橋村もスポーツ振興に投資してはいかがですか？

答教育長

現在スポー

ツ少年団の組織の中で活動しているチームには少年野球の「舟橋ビクトリーズ」と任意団体として活動しているサッカーチーム「サッカーゼロ」があります。具体的支援と

して、「舟橋ビクトリーズ」は、舟橋村スポーツ少年団に加盟しておりますので、舟橋村スポーツ少年団活動助成金が出ております。

このほかに、村の体力向上事業として、「走り方教室」「コーディネーショントレーニング」「栄養学

講座」などを実施しております。「指導者の招聘」「選手強化のための支援」は、現在のすぐれたスポーツ指導者の存在も村のスポーツ振興に大きく貢献していただいておりますが、教育委員会や各種団体との連絡を密にして、スポーツ環境の整

問

要介護1・2の介護事業について対応を問う

答

共助のまちづくりを推進し、地域で支える仕組みづくりを目指す

竹 島 貴 行 議員



問 今年の4月から要支援1・2部分の軽度介護が、介護保険から切り離され市町村事業に移行。全国自治体の45%が事業の担い手確保が困難という理由等から運営に苦慮している中で、国は更に要介護1・2の介護も市町村事業へ移行を検討している。

それに対し、全国60%以上の自治体が反対し、県内でも舟橋村以外は反対か、どちら

備・推進につとめたいと考えている。



ともいえないと言っている中、村は地域の実情に合ったサービスを提供できるとして賛成表明したと報道された。

そこで現在の軽度介護対象者数とサービス内容を問い、要介護1・2部分の介護事業を移管された場合に備えて体制を構築すべきと訴え、村の姿勢を問う。

答生活環境課長

要介

護1・2が市町村事業に移行した場合のサービスについては現段階で、明確な対応策がある訳ではございませんが、村では共助のまち



づくりを進めています。公的な制度では対応できないちょっとした助け合いや人と人との繋がりから生まれる安心感こそが、子育てや介護サービスの土台になると考えています。

一歩ずつではありますが、高齢者を地域で支える仕組みづくりを目指し、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、生活支援・介護予防サービス体制整備協議体等、関係機関との連携を強化して進めて参りたい。

問 私有地の管理指導について姿勢を問う

答 所有者・管理者不在な物件については関係機関と協力していく

問 これまで、個人の

財産権抵触の恐れから私有地への行政の介入は、あまり行われなかったが、現在の少子高齢化による人口減少、そして核家族化や

独居世帯の増大は、空き家・空地の増加にもつながっており、地域の美観や防犯上に関連する環境保全の阻害要因にもなっている。

以上の理由から私有地管理へ村の関与も必要な時代になってきたと考える。

固定資産税徴収のため村は不動産所有者を把握していると考えますが、所有不明者や連絡困難対象物件は現在あるのか、また荒廃した空き家・空き地に対し、村が管理指導を行うべきと考えるが、空き家・空き地問題や私有地管理に対し、今後どう対

答 生活環境課長 村内

の空き家・空き地につきましては、年1回村内全域を現地調査し、空き家・空き地の箇所、管理者、管理状況を台帳で管理しております。

空き家の中には、不動産会社が管理されている物件もあり、全てを把握している訳ではありませんが問い合わせや購入希望があった際には、管理者に連絡を取り、空き家の解消に努めているところでもあります。

村内には、未相続により、所有者や管理者が不在な物件が存在しており、村としての対応が必要であると認識しております。今後の

対応につきましては、関係機関等と協議のうえ、指導をおこなって参りたいと考えています。



9月補正予算の主なもの

・ 一般管理費	
社会保障・税番号制度システム改修委託料	1,482 千円
・ 予防費	
こども医療費助成	3,000 千円
・ 農業総務費	
農業共同経営体支援事業費補助金	3,000 千円
・ 農地費	
仏生寺地内排水路改修工事測量設計業務委託料	1,757 千円
仏生寺地内排水路改修工事費	8,500 千円
県単独農業農村整備事業負担金	1,800 千円
・ 道路維持費	
村道維持補修工事費	4,573 千円
・ 道路新設改良費	
村道稲荷学校線道路改良工事費	936 千円

雨とパークゴルフブレイク

雨が降っている。梅雨空のような雨少々肌寒い。パークゴルフをたしなむ。

コートを着用し、カップズボンクラブの柄はズクズク。この雨め！

前日はカラカラ天気だったのに。皮肉な雨よ。コースは所々水たまり。カップの回りも滑り、カップに蹴られる。しかし、かのうまい人は

60mのパー4の距離をカップに「ピタッ」と寄せ難なくイーグルまぐれと思いきや、またまた、60mのパー4のホール

こんどはカップが見えない。が「ピタッ」と寄せる。神業である。こんな神業がそうそう続かないと思うが続いたのである。

雨よ晴れてくれ…。残念最後まで雨である。靴の中に水が！だがしかし、パークゴルフは、面白い。

ほのぼのとした気持ちになりました。よかったのに…。

づくりのために

質疑応答



産業厚生 常任委員会

問 こども医療費助成3,000千円の積算根拠は？
答 10月から子ども医療費の現物給付における所得制限の撤廃と中学校3年生までの拡大をシュミレーションして積算を行った。
問 日本型直接支払制度補助金の概略について
答 農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して支援を行う。
 多面的機能を支える共同活動への支援、地域資源の質的向上を図る共同活動への支援等が主な概要になります。
問 農業共同経営支援事業費補助金の補助対象者は？
答 補助対象者は村内に居住し農業を営む共同利用組織であって、耕作面積の合計が概ね7ha以上であることです。
問 仏生寺地内排水路改修工事の施工理由
答 法面が崩れてきていることからボックスカルバートを設置し水路全体を整備するもの。
問 村道維持補修工事費4,573千円の補正理由

答 道路の陥没や安全施設の補修等を実施した結果、当初予算に不足が生じたため。
問 保育園建物の雨漏り対策について今後の対応方針について
答 保育園が移転した後は、学童保育の移転及び村の地域のエイジレスの方の交流の場をつくっていきたくので、YMCAと協議してできる限りサポートして参りたい。
問 図書館行事は広報等で周知されているが公園行事等における周知が一部の者にとどまっているのはなぜか？
答 学童保育室や保育所を通じて周知をしてきたが、今後は広く一般にも周知していく。
問 図書館の今後の方向性は？
答 子どもから大人まで広く利用されるよう今後も利便性の向上に努める。
問 村道稲荷八幡川線道路改良工事について発注が3工区に分かれたのはなぜか
答 工期の短縮及び発注機会の増加のため、工区分け

を行った。
問 認知症の方がいる家族への支援状況及び対応状況について説明願いたい。
答 認知症初期集中支援チーム及び認知症地域支援推進員の配置、認知症高齢者への声掛け模擬訓練の実施、認知症カフェの開催などにより認知症の方がいる家族への支援を実施している。
問 認知症の方がいる家族への支援状況及び対応状況について説明願いたい。
答 認知症初期集中支援チーム及び認知症地域支援推進員の配置、認知症高齢者への声掛け模擬訓練の実施、認知症カフェの開催などにより認知症の方がいる家族への支援を実施している。
問 後期高齢者医療事業特別会計について、繰入金が年々上昇していくと予想されるが、歯止めの対策をどのように考えているか。
答 健康事業を充実させ、予防による対策を進めていく必要があると考える。
問 災害時や緊急時に防災行政無線やJアラート、携帯メールが正常に起動す



- ※ 1 Jアラート…総務省消防庁の全国瞬時警報システム
- ※ 2 ICT…情報処理や通信に関連する技術、産業、設備、サービスなどの総称

るか確認等の実施について
答 Jアラートのシステムと村で使用しているシステムとの連携の確認は実施している。その他のシステムについても定期的に点検を実施している。
問 村の債務残高について、過去10年間の残高変動と今後の見通しについて
答 平成28年度末で18億円余りの残高があり、平成31年度にピークを迎えると考えている。それ以降は減少していくため健全な財政運営ができると考えている。

質疑 応答

住みよい村

総務教育 常任委員会



問 マイナンバー制度に係る今回の補正予算での付加業務は？

答 国のレイアウト変更に伴うシステム改修の実施。これまで連携できていなかったデータを連携できるようにするもの。

問 サクラミーツ・ザ・ファイアーふなはしの予算50万円の用途

答 主な費用として電気配線及び音響設備工事20万円、出演者報償費20万円、その他チラシ印刷代、体験会の材料費などです。

問 舟橋会館等の公共施設について監査委員会が意見

として述べている方向性とは

答 舟橋会館をはじめ公共施設全般の運営について、住民にどれだけの費用がかかっているかを知ってもらい、施設の運営について検討していく時期にきている。

問 認定こども園の予定地で、再度埋蔵文化財の調査が必要となったが、その場所と調査日程について

答 埋蔵文化財の調査地は道路の拡幅予定地全体であり、稲刈り終了後に調査を実施する。

問 同事業の契約・入札状況はどのようになっているか

答 「ICT活用による子育て共助コミュニティ醸成事業」は随意契約、「子育て共助のまちづくりモデル事業の推進に係る支援業務」「舟橋村総合戦略実行支援業務」は企画競争を行い業者選定した。



春の恒例行事となったサクラミーツ・ザ・ファイアー



陳情案件

全国森林環境税の創設に関する意見書採択に関する陳情については継続審査とする。

常任委員会質疑での各施設等の現状と今後



来年度、開館20周年を迎える舟橋村立図書館



工事が進む村道稻荷八幡川線



来年度から学童保育室及びエイジレス事業の拠点となる現在の保育所

建設の進捗状況を見る

9月15日「ふなはしこども園」建設現場を視察。平成30年4月1日の開園を目指して、工事は急ピッチで進んでいる。

木造平屋建て、床面積は1,181.03平方メートルの建築である。工事行程表を見ながら、遅れがないかをチェック。工事は冬を跨ぐが、工事は順調に進んでおり、行程表では11月中旬までには建て方を終わる計画である。



開園の遅れを懸念しているが大丈夫とのことである。

地方創生特別委員会 勉強会を開催

10月2日（月）富山県経営管理部長の滝陽介氏を講師にお招きし「地方創生の現状と課題」を演題に講演会を実施しました。

地方創生事業の今後の展開を聞き、村で進めている事業が村民に分かる形での具体的成果が今後必要であると意見交換しました。



富山広域連携中枢都市圏の概要（議決案件）

富山市及び舟橋村が、人口減少・少子高齢化社会にあっても、活力ある地域経済を維持するとともに、住民が安心して快適な暮らしを営むことができる圏域を形成するため連携協約を締結し、次の取り組みを行うものである。

- 1 圏域全体の経済成長のけん引
 - ・ビジョン懇談会を運営し、連携中枢都市圏ビジョンの策定
 - ・新産業・新事業の創出や人材育成、起業家の支援
 - ・地域資源を活用した地域経済の裾野拡大
 - ・観光資源の創出・発信に戦略的に取り組む
- 2 高次の都市機能の集積・強化
 - ・広域的な交通体系の整備
 - ・人材育成や産業の活性化、雇用の創出・高等教育等の環境整備
- 3 圏域全体の生活関連機能のサービス
 - ・地域医療・介護の充実
 - ・福祉の充実
 - ・教育・文化・スポーツの振興
 - ・広域的な土地利用
 - ・地域振興
 - ・災害対策等の充実
 - ・環境対策の充実
 - ・地域公共交通の充実
 - ・ICTインフラの整備
 - ・道路等社会インフラの整備
 - ・地域の生産者や消費者等の連携による地産地消
 - ・圏域内外の住民との交流・移住促進
 - ・圏域マネジメント能力の強化

あとがき

スポーツの秋
抜けるような青空！
のもとで住民運動会。
「ヨーイ。ピチ」音が
でない。ヨードン
一斉に走る。
抜きつ、抜かれつ。
参加することに意義が
あるとは言うものの
勝負師は走る。
勝った。負けた。
悲喜こもごもの結果
練習をして、来年こそ
ガンバロウ。
と言ってすぐ忘れる。
秋です。過ごしやすい
季節です。
村議会も9月議会から
ネット中継が始まり
ました。開かれた議会
を目指して頑張ってお
ります。

（森・記）

議会広報特別委員会

委員長 吉川孝弘
副委員長 森弘秋
委員 明和善一郎
委員 田村馨

議会・議会だよりについて、みなさまのご意見・ご感想をお寄せください。



舟橋村議会事務局 Tel.464-1121 (代) Fax.464-1066
〒930-0295 富山県中新川郡舟橋村佛生寺 55



議会中継は村のホームページ中央の「インターネット議会配信」から見るができます。